

## 平成 27 年度第 2 回 地域公共交通会議

日 時：平成 28 年 2 月 15 日（月）10 時 30 分～11 時 30 分

場 所：四万十町役場本庁 西庁舎 3 階 防災対策室

出席者：森武士（会長）、吉岡真佐人（委員）、谷崎直子（委員）、樫本利一（委員）  
寺岡昌人（委員）、山崎健一（委員）

欠席者：林利子（委員）、三浦ひろみ（委員）、佐竹憲雄（委員）、芝和寿（委員）

事務局：3 名

議事：（1）窪川 — 十和 直通バス路線の実証運行について

（2）窪川地域第 1 期、第 2 期コミュニティバス利用実績について  
（地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について）

（3）その他

### 要旨

#### （1）窪川 — 十和 直通バス路線の実証運行について（資料 1）

来年度（H28 年 4 月 1 日）より窪川地域、大正地域、及び十和地域を結ぶバス路線の実証運行（有料）を予定。計画では既存バス路線「窪川—北の川」線の折り返し地点を大正北の川から土佐大正駅まで延長し、既存バス路線「道の駅とおわ—大正駅」線に接続する予定であり、大正—十和間については既存バス路線「道の駅とおわ—大正駅」線を概ね現行のまま運行する予定。

具体的な実証運行計画については、4 月 1 日から 6 か月間を予定しており、その後、2 か月程度の間で利用者懇談会等により地域住民や利用者の意見収集、運賃や運行ダイヤ等の協議を経て、本格運行へ移行することを目標としている。

会議の中では上記の内容を資料に基づき説明し、意見及び承認をいただいた。

### （意見）

- ・直通バス路線とあるが、乗換はないのか。  
⇒土佐大正駅で乗り換えが必要となります。
- ・JR 予土線減便の件があったが、それに代わるダイヤの設定ができないか。  
⇒JR 予土線減便の代替策としてはバスしかないと思われるため、今後対応を検討する必要があると考えています。
- ・バス運賃（案）について、JR の運賃と同等にならないか。  
⇒現在はこの案でしか運賃設定ができないが、今後乗継割引が可能か検討していきます。  
⇒法的には乗継割引の設定は可能と思われます。
- ・将来のことを考えると高齢化が進むことは間違いないが、その人たちが公共交通機関を

必ずしも使うとも限らないので、運賃設定は難しいと思う。

(提案議題について)

⇒提案議題については承認された。

### (2) 窪川地域第1期、第2期コミュニティバス利用実績について(資料2)

窪川地域第1期及び2期コミュニティバス運行については、国の地域公共交通確保維持改善事業による支援を受けており、この事業による支援を受けた事業については、協議会自らによる事業の実施状況の確認、評価(自己評価)を行い、その結果を地方運輸局等に報告することとされている。

そのため、対象路線の利用実績を確認してもらい事務局による自己評価(案)について意見等をいただいた。

(意見)

- ・利用状況は良好と思え、利用者数も概ね目標を達成している。
- ・路線によっては、窪川中心部から帰る際に特定の1便に集中してしまうことがあると聞いている。  
⇒可能な際は、より大きなバスを走らすなどして対応しています。  
⇒そのような対応により乗り切れないという状況は回避しておりますが、利用者の多くが高齢者であるため、大きな車両にするとステップがなく乗り降りの際に不便な面も出ております。

### (3) その他

福祉タクシー・バス利用券ついて、現在検討されている対象者の要件見直し案を事務局より報告。

案としては、対象者を「80歳以上のみの世帯に属する高齢者」を「四万十町に住所を有する80歳以上の高齢者」に見直しを行う。障害者の要件については、変更なしの予定。助成金額の設定については、現行6,000円と12,000円のところを距離に応じて6,000円、9,000円、12,000円の区分に見直しを行う。

これらの見直しに伴い、予算的には3倍程度まで拡充される見込み。

なお、見直しをされた内容はH28年度当初予算へ計上され、来月の3月議会へ上程される予定のため、確定事項ではない。また同様の理由から配布資料等はなし。

(意見)

- ・年齢的に運転免許証の返納を考えている人も多くいると思うが、実際に免許を返納する

と移動手段について不安があり、なかなか踏み切れないという状況もあると思う。そういった人たちに対して良い施策だと思う。

・ 交付を受けた方にはできるだけ使い切ってもらおうと思う。

⇒ 概ね 8 割は利用してもらえているのではないかな。

・ (コミュニティバスの料金について) 現行の 100 円というのは、安すぎるという意見も聞く。

・ 200 円でも良いと思う。

⇒ 導入の際に、利用者によって距離が違うため例えば 100 円にするのと 500 円にするのでは高い人と安い人が生じてしまうという懸念があり、現行の 100 円となっております。

⇒ 料金格差についてはこれまでも意見があったため、今後見直しの方向を見出していく必要があろうかと考えております。

⇒ 利用者懇談会で、運賃を上げて構わないという意見も頂くが、近くの利用者の運賃が高くなってしまいう状況も出てくるため、簡単には上げられないところもあります。